



Cisco NX-OS での Puppet エージェントの使用

• [Cisco NX-OS での Puppet エージェントの使用, 1 ページ](#)

Cisco NX-OS での Puppet エージェントの使用

Puppet サポートの機能履歴

次の表に、この機能のリリースの履歴を示します。

表 1: *Puppet* サポートの機能履歴

機能名	リリース	機能情報
Puppet のサポート	7.3(0)D1(1)	この機能は、Cisco Nexus 7000 および Cisco Nexus 7700 スイッチで導入されました。

Puppet について

Puppet Labs によって開発された Puppet ソフトウェアパッケージは、構成設定などのデバイス状態を適用することにより、サーバおよびその他のリソースを管理するためのオープンソース自動化ツールセットです。

Puppet コンポーネントには、管理対象デバイス（ノード）上で実行される Puppet エージェント、そして一般的に独立した専用サーバ上で実行され、複数のデバイスにサービスを提供する Puppet マスター（サーバ）などが含まれます。Puppet エージェントは、定期的に Puppet マスターに接続

し、設定マニフェストをコンパイルしてエージェントに送信します。次にエージェントはこのマニフェストをノードの現在の状態に合わせて調整し、差異に基づいて状態を更新します。

Puppet マニフェストは、デバイスの設定状態に関するプロパティ定義の集合です。これらのプロパティ状態の確認および設定の詳細は抽象化されるため、複数のオペレーティングシステムやプラットフォームがマニフェストを使用できます。マニフェストは通常、構成設定を定義するために使用されますが、ソフトウェアパッケージのインストール、ファイルのコピー、サービスの開始などにも使用できます。

詳細については、Puppet Labs のリンク先を参照してください。

Puppet Labs	https://puppetlabs.com
Puppet Labs の FAQ	http://docs.puppetlabs.com/guides/faq.html
Puppet Labs のドキュメント	http://docs.puppetlabs.com/

前提条件

Puppet エージェントの前提条件を以下に示します。

- インストールをサポートするシスコ デバイスおよびオペレーティング システム ソフトウェア リリースが用意されていること。
 - Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチ。
 - Cisco Nexus 7700 シリーズ スイッチ。
 - Cisco Nexus 7000 および Cisco Nexus 7700 シリーズ スイッチ用の Cisco NX-OS リリース 7.3(0) D1(1) 以上。
- Puppet エージェントは、Cisco Nexus 7000 および Cisco Nexus 7700 スイッチ上ではネイティブに実行できません。その代わりに、Open Agent Container (OAC) と呼ばれる特殊な仮想環境で実行されます。使用しているスイッチに OAC をインストールする方法については、「*Open Agent Container*」の章を参照してください。
- Puppet 4.0 以降をインストールした Puppet マスター サーバが用意されていること。
- Puppet エージェント 4.0 以降が用意されていること。
- ciscopuppet モジュール 1.1.0 以降が用意されていること。

Puppet エージェント NX-OS 環境

Puppet エージェント ソフトウェアは、次の Cisco Nexus プラットフォーム上の Linux 環境にインストールする必要があります。

- Open Agent Container (OAC)

OAC は、32 ビットの CentOS 6.6 ベースのコンテナであり、特に Nexus プラットフォームで Puppet や Chef エージェントの実行を可能にすることを目的としています。このコンテナは、「bash」シェルを提供する機能を備えますが、コンテナ内にインストール可能なアプリケーションは制限されます。

デバイスに Puppet クライアントをインストールする前に、そのデバイスに OAC をダウンロードしてインストールする必要があります。OAC のダウンロードおよびインストールの方法については、[Open Agent Container](#) の章を参照してください。

次に、エージェントソフトウェアのダウンロード、インストール、セットアップに関する情報を示します。

Puppet エージェント RPM (Open Agent Container (OAC)、32 ビット CentOS6 ルートファイル)	http://yum.puppetlabs.com/ Release RPM は、puppetlabs-release-el-6.noarch.rpm という名前のリポジトリにあります。 Agent RPM の最新情報については、 https://github.com/cisco/cisco-network-puppet-module/tree/master#setup を参照してください。
Puppet エージェント : Cisco Nexus でのインストールと設定 (手動設定)	Cisco Puppet Module::README-agent-install.md

ciscopuppet モジュール

ciscopuppet モジュールは、シスコが開発したオープンソースインターフェイスであり、puppet マニフェスト内の抽象化されたリソース設定と、Cisco Nexus NX-OS オペレーティングシステムおよびプラットフォームの特定の実装の詳細との間のインターフェイスとして機能します。このモジュールは、Puppet マスターにインストールされ、Cisco Nexus スイッチで Puppet エージェントが正しく動作を実行するために不可欠です。

ciscopuppet モジュールは、Puppet Forge で利用できます。ciscopuppet モジュールの場所およびセットアップ手順についての詳細は、次のサイトを参照してください。

<https://forge.puppetlabs.com/puppetlabs/ciscopuppet>

次の表に、ciscopuppet モジュールの追加情報に関するドキュメントのリンク先を示します。

トピック	リンク
リソース タイプ カタログ	https://github.com/cisco/cisco-network-puppet-module/tree/master#resource-by-tech
ciscopuppet モジュール : ソースコード リポジトリ	https://github.com/cisco/cisco-network-puppet-module/tree/master

トピック	リンク
ciscopuppet モジュール : セットアップと使用	Cisco Puppet Module::README.md
Puppet Labs : モジュールのインストール	https://docs.puppetlabs.com/puppet/latest/reference/modules_installing.html
Puppet Forge	https://forge.puppetlabs.com/